

第17回理研「バイオものづくり」シンポジウム

開催日時：2023年1月11日（水）13:00-17:15

場 所：鈴木梅太郎記念ホール／生物科学研究棟 1F

主 催：国立研究開発法人理化学研究所（伊藤ナノ医工学研究室 主任研究員 伊藤 嘉浩）

協 賛：日本化学会・高分子学会・日本薬学会・日本生物工学会・日本生物物理学会・日本バイオマテリアル学会・
日本 DDS 学会・日本人工臓器学会、応用物理学会

バイオテクノロジーや化学を始めあらゆる工学技術を用いて医工学材料開発に向き合う研究を紹介する理研「バイオものづくり」シンポジウムも第17回を迎える。今年、ペプチドの一分子・高次構造体・集合体それぞれの性質を活かした新規機能の開拓および、進化分子工学やAIを用いた抗体等の有用な生体高分子の創出といった応用研究まで、幅広くバイオ業界における「ものづくり」の力を発信していく。

<プログラム（予定）>

13:00-13:05 開会の辞

13:05-13:35 A. Nandakumar（理研） 「Unraveling solvent effects in biomolecular interaction by amphiphilic polypeptide assembly」

13:35-14:15 宇治 広隆（京大） 「ペプチド分子の電気的特性と分子組織化」

14:15-14:55 新津 藍（理研） 「膜貫通ペプチド会合体の de novo 設計と機能開拓に向けて」

14:55-15:15 休憩

15:15-15:55 梅野 太輔（早稲田大学） 「生命機能拡張を目指した進化分子工学」

15:55-16:35 玉木 聡志（(株) MOLCURE） 「AI とラボラトリーオートメーションを活用した抗体/ペプチド創薬プラットフォーム」

16:35-17:15 吉井 康祐（株式会社 HikariQ Health）
安田 貴信（東工大）

「蛍光免疫センサーQuenchbody：その発見から生細胞抗原検出への展開まで」

<参加申し込み>

下記 URL よりお申し込みください。参加費は無料です。

URL: <http://www2.riken.jp/nano-med.eng.lab/bio-mono17.html>

連絡先： 理化学研究所 伊藤ナノ医工学研究室

〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1 研究交流棟 W503

TEL : 048-467-4979 (直通)

Email : bio-mono17@ml.riken.jp (問合せ)